

第4回 一般廃棄物最終処分場の候補地選定に係る住民説明会概要

1 日時 令和7年6月19日(木) 19:00 ~ 20:00

2 場所 下増田公民館 研修室1・2

3 参加者

(1) 市民8名

(2) 小松生活経済部長、朽木環境共創課長、石川環境共創課長補佐、小山主事、石川主事

4 説明事項

(1) 名取市のごみ処理の現状について

(2) 今回の選定における基本的な考え方

(3) これまでの選定経過について

(4) 候補予定区域について

(5) 詳細調査の評価項目について

(6) 今後のスケジュールについて

<質疑応答(要約)>

(1) 最終処分場の概要、選定過程などに関する質疑

Q1 評価項目の経済性に、焼却灰を運搬する費用について項目に加えてほしい。

A1 概算維持管理費の項目で評価するという事で考えている。

Q2 評価項目の建設条件に、工事期間がどれくらいかかるのかについて項目に加えてほしい。

A2 場所によって若干のばらつきが出てくるとは思われるが、一般的には最低でも3年はかかると見込んでいて、大差はないと考えている。

Q3 調査項目が確定していない状態で、詳細調査が動いているという認識でよいのか。

A3 評価項目について正式に固まっていないが、これまでの他自治体の事例等からコンサルタントも調査内容をある程度掴めているところはあるため、同時に進めている。

- Q 4 評価項目が決まるのは、10月の選定委員会で決まり、調査結果が出て、最終候補地が決まるという流れでいいのか。
- A 4 評価項目については、現在、委員の皆様方にご意見等を伺っている。その項目に基づいて10月に調査結果が出てきて、5カ所からの選定に入る形になる。
- Q 5 搬入経路について、資料の経路以外を通ることはないと考えているのか。
- A 5 資料はあくまでもイメージのため、地元の皆様方と調整協議し、最終的に決めていくという形で考えている。
- Q 6 クローズド方式で下水道放流を選んだ場合、下水に流れる経路はいつ分かるのか。
- A 6 調査結果において、コンサルタントが概略図面を示すため、その内容が妥当かどうか皆様方にも住民説明会等で示したい。
- Q 7 処分場の建設経費は2市2町で分担するのか。名取市だけなのか。
- A 7 国の補助金も活用しながら建てることになるが、基本的には2市2町の負担金で建設する。
- Q 8 負担金の割合は決まっているのか。
- A 8 正式には決まっていないが、負担金の考え方は人口やごみの量などで按分し、負担金を算出している。

(3) ご意見として承ったもの

- 意見1 急いでやってうまくいかないということが無いように、しっかり進めていただきたいが、延びれば延びるほど県外搬出のコストもかかるため、随時住民への説明も行いながら選定を進めてもらいたい。